

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 免許人が、無線設備の変更の工事の許可を受けその変更後、許可に係る無線設備を運用するためには、総務省令で定める場合を除き、どのようなことが必要か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められなければならない。
2. 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を届け出なければならない。
3. 総務大臣の検査に合格した後、運用開始の期日を届け出なければならない。
4. あらかじめ運用開始の許可を受けなければならない。

〔2〕 次の記述は、電波の質に関する電波法の規定である。
☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の ☐ 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差
2. 周波数の偏差、空中線電力の偏差
3. 高調波の強度、空中線電力の偏差
4. 周波数の偏差及び幅、高調波の強度

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、空中線電力50ワット以下の航空局(航空交通管制の用に供するものを除く。)の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、何キロヘルツ以上の周波数の電波を使用するものが、正しいものを次のうちから選べ。

1. 20,000キロヘルツ
2. 25,010キロヘルツ
3. 30,000キロヘルツ
4. 35,010キロヘルツ

〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状又は登録状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 総務大臣が当該無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 非常の場合の無線通信が行われるとき。

〔5〕 無線局の免許が取り消されることがあるのは、次のどの場合か。

1. 免許状を失ったとき。
2. 運用許容時間外の運用をしたとき。
3. 指定外の周波数の電波を使用したとき。
4. 正当な理由がないのに、無線局の運用を引き続き6箇月以上休止したとき。

〔6〕 航空局において、空電、混信、受信感度の減退等の通信状態については、電波法施行規則では、次のどれに記載しなければならないことになっているか。

1. 無線設備の保守管理簿
2. 無線局事項書の写し
3. 無線業務日誌
4. 無線検査簿

航空特殊無線技士試験問題

法 規

〔 7 〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものは、次のどれか。

- 1 . 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 2 . 必要のない無線通信は、これを行ってはいけない。
- 3 . 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、通報の送信後、訂正箇所を通知しなければならない。
- 4 . 無線通信における通報の送信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。

〔 8 〕 次の記述は、航空移動業務の無線電話通信における応答事項を掲げたものである。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

相手局の呼出符号

1 回
□□

自局の呼出符号

- 1 . 1 回
- 2 . 2 回
- 3 . 3 回
- 4 . 3 回以下

〔 9 〕 義務航空機局の運用義務時間として無線局運用規則に定められているものは、次のどれか。

- 1 . 航空機の航行中及び航行の準備中常時
- 2 . 航空機の航行の準備中常時
- 3 . 航空機の航行中常時
- 4 . 航空機の出発準備から離陸までの時間中及び着陸準備から着陸までの時間中常時

〔 10 〕 遭難航空機局（遭難通信を宰領したものを除く。）は、その航空機について救助の必要がなくなったときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

- 1 . その航空機を運行する者に通知しなければならない。
- 2 . 航空交通管制の機関にその旨を通知しなければならない。
- 3 . 直ちに責任航空局に通知しなければならない。
- 4 . 遭難通信を宰領した無線局にその旨を通知しなければならない。

〔 11 〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与えている旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

- 1 . 直ちにその呼出しを中止する。
- 2 . 空中線電力を低下してその呼出しを続ける。
- 3 . できる限り短い時間にその呼出しを終える。
- 4 . 数秒間その呼出しを中止してから再開する。

〔 12 〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするとき、応答事項の次に送信する略語は、次のどれか。

- 1 . OK
- 2 . 了解
- 3 . どうぞ
- 4 . 送信してください